

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 中小企業総合人材確保センター運営事業費（コロナ対応分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3681)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,221 千円 （前年度予算額：15,991 千円）

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	15,991	15,991	0	0	0	0	0	0	0
要求額	13,221	0	0	0	0	0	0	0	13,221
決定額									

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

県内の雇用情勢は、新型コロナウイルスの感染拡大により、先行きが不透明な状況にあり、新型コロナウイルスの影響により、就労の場や機会を失った求職者の増加が予測される。現に岐阜県総合人材チャレンジセンターの就労相談対応数が増加傾向にある。そのため、令和2年度に増員した就労相談員による相談体制を継続するとともに、求職者が安心して就労相談窓口を利用してもらえよう、県の求職者支援拠点である岐阜県総合人材チャレンジセンターの相談窓口の環境を整え、就労相談に対応する。

（2）事業内容

＜運営概要＞

- ・名称：岐阜県総合人材チャレンジセンター
- ・場所：本所 県シンクタンク庁舎2階、岐阜出張所 アクティブG内
- ・開設時間：月曜日～土曜日 9時15分～18時
- ※祝日・年末年始は休館、岐阜出張所は土曜休

＜事業内容＞

- 就労相談員の増員の継続
 - ・6名による就労相談員体制の維持（通常：4名体制）
- 感染防止環境整備
 - ・リモート相談の実施（WEB、電話相談）

(3) 県負担・補助率の考え方

新型コロナウイルスへの対応は継続して実施する必要があり、県民の生活・雇用対策を実施する本事業は、県負担とすることが妥当である。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	13,221	岐阜県総合人材チャレンジセンター人員、環境整備等
合計	13,221	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和2年度に増員した就労相談員による相談体制を継続するとともに、人材チャレンジセンターの相談窓口の環境を整え、就労相談に対応する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5年度)	達成率
相談件数（就労相談）	4,363件	5,691件	5,535件	/	/	/

○指標を設定することができない場合の理由

目標設定については、国（労働局）と県で構成する岐阜県における一体的実施事業運営協議会で決定するため。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口での相談対応（随時）（5,691件） ・出張就職相談会での相談対応（312件） ・求職者向けセミナーの実施（随時）（219名/31回）
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>新型コロナウイルスの影響により、就労の場や機会を失った求職者が増加しており、事業の必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>令和3年度において、5,691件の相談に応じた。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>ジンチャレ！事業の効果を最大限にするため、産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会、経済団体、労働局及びハローワークなど、関係機関と連携し、効率的に実施している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の影響により、就労の場や機会を失った求職者が増加しており、きめ細かな相談に対応できる人員体制の維持が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本事業で推し進めるリモート相談（WEB、電話相談）の利用数が増加しているため、引き続き本相談体制を継続し、求職者に対してきめ細やかな支援を行っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	